

令和元年7月19日（金）

令和元年度1学期終業式 式辞

皆さんおはようございます。今日は1学期の終業式を迎えました。

4月から7月までの4カ月弱でありますので、1年間の約1/3のひと区切りとなります。皆さんそれぞれの1学期はどうだったでしょうか。自分の目標のためにチャレンジできたでしょうか。少し振り返ってみてください。

まず、今年度の1学期は特別なスタートとなりました。4月1日に新たな元号・令和（れいわ）が発表され、5月1日には、平成から令和へと新たな時代の幕開けとなりました。あれから、まだ2・3カ月しか経っていないのですが、なぜか平成の時代が遠い昔のように感じてなりません。それだけ令和がとても馴染んで、国民に浸透したからだと思います。

その令和ですが「令和最初のとか、令和初の・・・」という枕詞がついて、この1学期、皆さんが活躍する部活動の各種大会や発表会が行われました。私も、都合がつく限り駆けつけて、応援したり、発表を見たり・聞いたりして、多くの感動をいただいたところです。

先週は、吹奏楽コンクールと夏の甲子園山形県大会がありました。吹奏楽部の皆さんは、壮行式の時よりも一層完成度が増して、素晴らしい演奏になったと思います。27日の県大会でも、さらに磨きをかけて、皆さんにとって最高の演奏になることを期待します。

また、野球部の皆さんも勝敗こそ残念な結果でしたが、一時は3点リードされながらも執念で追いつき、部員数が4倍以上の相手チームに対して、堂々の戦いぶりだったと思います。スタンドでの有志の皆さんの応援も立派で、とても感動しました。ありがとうございました。

さて、6月の創立記念式後の講演会では、フェンシングのオリンピックである池田めぐみさんから「夢をあきらめない・覚悟が切り開く道」という演題で講演をいただきました。

池田さんに講演をお願いした目的は2つありました。一つは、来年はいよいよ東京五輪の年となりますので、五輪にちなんで、アテネと北京の五輪に2大

会連続出場した池田さんに、オリンピック選手になるまでの道のりや夢に向けてチャレンジした取組み、また、挫折と困難を、何度も乗り越えてきた体験などをお聞きし、皆さんのこれからの人生の参考にしてほしいと思ったからです。

高校3年生の進路選択時には、両親から体育大学進学に猛反対された話がありました。最後には両親から「五輪出場」を条件にと、進学を認めてもらったとのこと。おそらく両親は「五輪出場」といよりは、やるなら「五輪出場」くらいの覚悟をもって競技をやれと叱咤激励意味で言ったのだと思います。また、競技人生の中で、2度も膝の靭帯断裂の大けががあつて苦しんだことや悲願の五輪出場を果たした後でも、高いレベルの目標だからこそ、結果に満足できず、トップアスリートならではの葛藤や苦しさが続いた話もありました。

オリンピック選手は、輝かしく、華々しい活躍や順調な競技人生ばかりがクローズアップされますが、実は、陰には多くの挫折と困難があり、それでも、「夢をあきらめない・覚悟が切り開く道」という信念があるからこそ、それらを乗り越えて、高校3年生の時に親と約束した「五輪出場」を2度も果たせたのだと思います。皆さんには「やらずに後悔することなく、多くのことに挑戦し、将来に花を咲かせてほしい」とエールを送ってくれました。

講演をお願いした目的の二つ目は、池田さんの生き方・生き様を紹介したかったからです。アジア大会で優勝し、技術はもちろん心も体も最も充実して3度目のロンドン五輪に挑戦しているときに、池田さんは乳がんを発症してしまいました。オリンピックどころか、命も危ぶまれることになり、現役選手を引退し、病気と闘うことになったのです。講師紹介でも簡単に触れましたが、私は当時池田さんと県体育協会で職場が一緒で、しかも彼女の担当でしたので、いつもは国際大会の凱旋報告会見の準備でしたが、急遽引退会見をすることになってしまったのです。池田さんから泣きながら報告を受け、私も泣いた記憶があります。しかし、いざ記者会見になると池田さんは気丈にもアスリートの顔になり、失意のどん底にあるのに、病気のこと（乳がん）をカミングアウトしたうえで、「山形にもどり指導者になる」と決意を堂々と述べたのです。

そして、病気と闘い完治させ、指導者として自分の道を切り開いていきました。その根底にあるのが、「病気を絶対直す」「指導者になる」という強い決意があり、やはり「夢をあきらめない・覚悟が切り開く道」の信念があったから実現したのだと思います。これまであまりプライベートのことは知りませんでした。が、お子さんを授かり、今は子育てをする傍ら指導者として活躍しています。

さて、明日から夏休みです。30日間あります。皆さんは、この30日間をどう過ごしますか。先日、壮行式を行いました。が、全国大会をはじめ各種の大会等に出場する人は、ぜひ、ベストを尽くしてもらいたいと思います。

夏休みとはいえ、夏季講習があったり、部活動があったりと、多くの時間を学校で過ごす人もいることでしょう。特に3年生は、進路希望達成のための大事な時期になります。よく「夏を制するものは受験を制する」と言います。この意味は、「何に優先順位をつけて計画的に、いかに充実した・夏休みを過ごすか」と言うことです。また、夏休みの30日は、有意義に過ごすことによって授業日の90日、つまり3ヶ月分の効果があると言われます。逆に、差がついてしまうことにもなります。自分の計画や考えでまとまった時間をつくれる絶好の機会でもありますので、次のステージを見据えて、しっかり力を貯えてくれることを願っています。

このことは、1・2年生にも当てはまります。勉強や部活動など、決して受身にならず、自分から進んで計画的に取り組めば、秋には飛躍的な力を発揮できるはずですのでこの期間を有効に使ってもらいたいと思います。

夏休みが明けて、2学期開始すぐの8月23日・24日には、本校の最大の学校行事である学校祭「麗明祭」があります。実行委員会や生徒会・部活動、そしてクラスなど、それぞれの立場で成功に向けて準備をお願いします。間もなく梅雨が明け、暑い夏になると思います。くれぐれも健康や安全に留意して皆さんに一人ひとりにとって充実した夏休みとなることを期待して、終業式の式辞とします。